

同志社大学

心理学部

Doshisha University Faculty of Psychology

ココロを
科学す子



ココロを科学す子

世界がどれだけ発展しても、原点にあるのは人のこころ。

ときに心理学は、現代社会を多面的に

解き明かす光となります。

それゆえ、心理学は今や産業、教育、司法など、

実に幅広い分野で活用されているのです。

また、本学は90年にわたって心理学を研究し、

多様な領域を学ぶ環境と実践的な

カリキュラムを充実させています。

心理学を学ぶことは、すなわち「社会を見つめる目」を磨くこと。

あなたも、社会に活かせる学びを身につけませんか。

Message

学部長挨拶



同志社心理へようこそ

1927年、文学部哲学科に心理学専攻が設置され、同志社大学に本格的な心理学の教育・研究組織が誕生しました。爾来、先人が重ねた歴史と伝統を礎に、2009年には同志社大学12番目の学部として心理学部が開設されました。私たちが愛着を持って呼んでいる「同志社心理」の歴史は、間もなく100年を迎えようとしています。「人の心の実証的に迫る」という基本方針に揺らぎはありません。また、法則性や理論を探究する基礎研究と、その成果をさまざまなフィールドに適用して私たちの生活改善を目指す応用実践とともに重視し、バランスのとれた心理学教育に取り組むという姿勢は今なお堅持されています。

心理学がカバーする領域の広さを実感していただけるであろう教授陣、全ての学年に配置された伝統の少人数教育、先進的で充実した実験・実習施設。これらはいずれも私たちが自信を持ってお届けできる学びの資源です。進取の精神と歴史に裏打ちされた環境で育まれる力が、皆さんお一人おひとりの糧となることを願っています。

同志社大学心理学部長 杉若 弘子教授



基礎と臨床をつなぐ、 バランスの取れた心理学教育

「基礎心理学を主たる研究領域とする研究者は、常に臨床（応用）にも眼を向けなさい。」
臨床（応用）心理学を主たる業務とする実践家は、常に基礎の知見にも眼を向けなさい。」
これは同志社心理に言い伝えられてきた言葉です。
人という複雑な対象を理解し、それを実践するには、さまざまな見方が必要です。

同志社心理は、基礎と臨床（応用）の
バランスが取れた教育を目指します。

Fundamental

基礎

「基礎」研究力とは、科学的方法論を駆使して、普遍的な知を創出する能力のことを指します。特に心理学では、論理力、観察力、そして分析力を基盤にして、具体的な現象に潜む普遍性を実証的に探求していく能力のことを意味します。ここで得られた普遍性は、時に常識とはかけ離れたものであるかもしれません。しかし、良心に基づいて、臆することなく、それを社会に発信していくことが必要です。なぜなら、そのような行為は、自由を守ることにつながるからです。

{ 身につく能力 }

○論理力 ○観察力 ○分析力 ○情報収集力

Applied

応用

「応用」力とは、科学的方法論を駆使して、社会問題を解決する能力のことを指します。特に、問題となっている場面に即したテーラーメイドな解決方法を提案し、実行・運用していく能力のことを意味します。また、他の専門家と連携しなければならないことが少なくありません。そのような時にこそ、実証に裏付けられた普遍性を踏まえながら、その場で得られたデータに基づいてコミュニケーションを交わすことが必要です。なぜなら、そのような行為は、フェアなコミュニケーションを可能にし、相手を尊重することにつながるからです。

{ 身につく能力 }

○問題解決力 ○創造力 ○実行力 ○発信力

Curriculum

目指すべき人材（物）像

心理学部心理学科では、観察・分析力、論理力、発信力の育成を基盤に、実証的な姿勢で「人のこころ」にアプローチできる人材の養成を目指している。キリスト教主義の精神に基づく教育環境の中で培われる高度な専門知識と技能は、心理学の専門家として、また社会のさまざまな分野で、良心をもって活躍する有為な人材を育成するための素地となる。

アドミッション・ポリシー

心理学部では、心の仕組みに関する知識や技能を基礎から応用まで体系的に学び、論理的な思考とデータによる実証を重視する姿勢を身につけることで、習得した知識や技能を適切に運用し、心理学の成果を社会に向けて主体的に発信できるようになることを目的としています。心理学の専門家として、人の心に関心を持ち、心の問題に科学的にアプローチする能力を備え、現代社会のさまざまな分野において貢献できる人物の育成を目指しています。こうした観点から、心理学部では、次のような学生を求めています。

ディプロマ・ポリシー

知識・技能

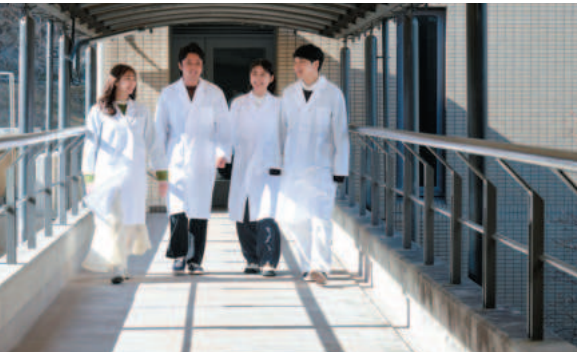
こころと行動の仕組みとその機能を解き明かすための実証的な研究法を身につけ、それによって得られた専門的知識を社会に活かすための方法論を理解できる。

思考力・判断力・表現力

根拠となるデータに基づいて論理的に思考することにより、実証的な姿勢でこころと行動の問題にアプローチするとともに、その成果を的確に発信できる。

主体性・多様性・協働性

こころと行動を科学的に探求し、その知識を核とした幅広い教養を活かした他者との協働により、社会のさまざまな領域において貢献できる。



心理学部の求める学生像

知識・技能

心理学部では、基礎心理学と応用心理学のバランスの取れた教育を通じて、心や行動の仕組みと機能に関する知識と技術の習得を目指しています。そのため、文系・理系を問わず、幅広い基礎知識が求められます。特に、一般的教養知識の習得や心理学の専門知識を身につける上で必要となる、日本語と英語の読解能力・表現能力を備えた学生を求めています。

思考力・判断力・表現力

自らの主張や論理を組み立てる力、現象を客観的に観察・分析する力、そして、得られた実証データについて主体的に発信する力に優れた学生を求めています。これらの能力は入学後に培われますので、すべてを兼ね備えておく必要はありませんが、論理と実証を基礎とした科学的な心理学の探求に強い関心を持つ人物こそ心理学部の求める人物像です。

主体性・多様性・協働性

入学後は、同志社心理の伝統である「少人数教育」に基づいて、教員と学生はもちろん、学生同士もしっかりと向き合って学び合う機会が設けられます。そのため、他者と協働して社会における問題の解決を試みる行動力を持ち、社会のどのような領域でも活躍できるような幅広い関心やコミュニケーション能力を備えた学生を求めています。

英語

英語の基礎学力やコミュニケーション能力は、大学において広い範囲で一般的教養知識を深めるために必要です。また、心理学部では、心理学の最新の知識を得るために外国書や英語論文を読み込む機会も多くあることから、入学時より高い英語力が求められます。国際社会に貢献する人材となるためにも、高い英語の基礎学力や優れたコミュニケーション能力が求められることになります。

国語

国語の基礎学力は、講義やゼミで文献を読んだり、実験レポートを提出したりする際に必要な能力です。論文で書かれていることを正確に読み取り、自らの実験・調査で得られたデータについて正確な解釈を行うためには、高い国語の運用能力が求められます。また、結果を的確かつ正確に発信する表現力にも国語の能力が求められます。このような読解能力と表現能力は、社会のどのような領域においても根幹となる重要な力になります。

地理歴史・公民

現代社会で発生する多様な問題への感度を高め、理解を深めるには、歴史的な視点と社会情勢に関わる基礎知識を有していることが望まれます。このような知識や感性は、キリスト教主義を原点とした国際的な視点と結びつきながら、現代社会の諸問題を把握し、その解決を目指す行動力につながっていきます。

数学

心理学においては、統計学の手法や知識が求められます。必ずしも、これらを入学前に習得する必要はありませんが、数学的な論理的思考力を身につけておくことが望まれます。客観的な観察力や分析力の基盤といえる統計学の手法や知識は、メーカー、金融、商社、サービス、情報、公共など幅広い業界で有益なツールとなるでしょう。

理科

心理学の一般知識には、脳・神経科学、生理学などに関する分野が含まれます。理科、特に生物についての一定の基礎学力を有していることが望まれます。生物に関する知識は、物事の原理・原則を見抜く力、生命に対する倫理観を培うとともに、健康、保健、福祉、医療などの分野で活躍するための応用力につながります。



実証的視点と高度な知識を身につけ、
社会に広く貢献する人材を育む。

学びの特徴

Point 1

伝統の少人数教育

少人数科目を設置し、
きめ細やかな指導を実現

心理学部では少人数教育を重視しており、学生と教職員の距離が自然に近くなります。1年次のファーストイヤーセミナーから4年次の演習（ゼミ科目）まで、全学年で少人数科目を設置し、きめ細やかな指導を実現します。

Point 2

研究力の向上

興味ある分野を発見して学び、
研究色も高めていく

2年次からは選択科目Iより、あらゆる心理学を学べるようになります。「神経・行動」「臨床・社会」「発達・教育」と大きく3つの分野を示すことで、自身の興味・関心がどの分野に向いているのか確認することができます。また知識だけでなく、研究力をつけるために、演習や実習を重ねて行い、研究法についても学びます。

Point 3

実践力の修得

こころと行動の解明に必要とされる
実践的かつ専門的な技術へとレベルアップ

1年次と2年次で、実験と臨床心理学の基本的な技能を学びます。3年次のアドバンストクラス「心理学実験演習（上級）」、「心理学実験プロジェクト演習」では、実践的かつ専門的な技術へとレベルアップします。

履修プロセス 心理学部 心理学科【2025年度以降生】

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
必修科目	講義系	心理学概論(1) 心理学統計法(1)	心理学概論(2) 心理学統計法(2) 外国書講読(1)	臨床心理学概論	心理学研究法(1) 外国書講読(2)	心理学研究法(2)			
	実習・演習系	心理学実験(1) ファーストイヤーセミナー	心理学実験(2)	心理学データ解析実習	心理学実験(3)		プレ演習	演習(1)	演習(2) 卒業論文
選択科目I	A群 【神経・行動心理学系科目】			スポーツ心理学／精神生理学(神経・生理心理学Ⅱ)／比較認知心理学／神経科学の基礎／食行動の心理学／生理心理学(神経・生理心理学Ⅰ)／学習心理学(学習・言語心理学Ⅰ)／認知心理学(知覚・認知心理学)／感情心理学(感情・人格心理学Ⅰ)／行動分析学(学習・言語心理学Ⅱ)					
	B群 【臨床・社会心理学系科目】			環境心理学／臨床社会心理学／産業・組織心理学／交通心理学／リスク心理学／パーソナリティ心理学(感情・人格心理学Ⅱ)／健康心理学(健康・医療心理学)／心理学的支援法／精神疾患とその治療／犯罪心理学(司法・犯罪心理学)／実験社会心理学(1)(社会・集団・家族心理学Ⅰ)／実験社会心理学(2)(社会・集団・家族心理学Ⅱ)					
	C群 【発達・教育心理学系科目】			発達心理学／乳幼児心理学／ヒューマン・モチベーション／高齢者心理学／障害者・障害児心理学／家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅲ)／学校心理学(教育・学校心理学)／福祉心理学／教育相談の理論と方法／生徒・進路指導の理論と方法					
	D群 【共通】	発達と学習の心理学		心理学史／心理学特論／心理的アセスメント		多変量解析法の基礎／心理学実験プロジェクト演習／心理学実験演習(上級)			
	E群 【公認心理師共通】			関係行政論／公認心理師の職責		人体の構造と機能及び疾病／心理演習		心理実習(1)	心理実習(2)

プロジェクト型への応用・探求

実験演習や卒業論文執筆は個人研究ではなく、一部を除いてチームを作ってプロジェクト型で実施しています。協力してデータ収集しているために、研究の水準は非常に高いレベルにあります。また、基礎から応用までさまざまな専門分野のゼミが開講されているので、学生がそれぞれに求める心理学を研究できます。

1年次 [基礎]

ファーストイヤーセミナー



1年次の必修科目として「ファーストイヤーセミナー」があります。これは少人数のグループで、大学での学びに関する基本スキルを身につけるプログラムです。授業の後半ではグループで選択したテーマについて、ポスター形式の発表を行います。グループワークを通して、仲間や先生と密にコミュニケーションをとり、“考える力”と相手に“伝える力”を育みます。

2年次 [発展]

心理学実験



こころと行動の基本的性質や法則性を科学的に探るには、実験が欠かせません。1年次から続く「心理学実験」では人の記憶や知覚の仕組み、対人場面での行動、動物の学習メカニズムなどに関する実験を実施します。目に見えないこころのプロセスをどのように客観的に測定し、どのように報告するのかなど、サイエンスの手法を段階的に修得します。

3年次 [応用]

心理学実験演習（上級）



「心理学実験演習（上級）」では、自分の興味や卒業研究の計画に応じて、さらに高度かつ実践的なスキルを修得できます。例えば乳幼児の研究などに役立つ行動観察の技術を学ぶクラスや、コンピュータを利用した心理学実験の方法を学ぶクラス、ヒトの心拍数などの生理反応を測定するための解析法を身につけるクラスなどが選択できます。

4年次 [探求]

卒業論文（ポスター発表）



4年次は学びの集大成となります。演習（ゼミ）で学生自身が興味のある分野について卒業論文のテーマを選択し、大学生活を通して学んできたことを活かして、卒業論文を完成させます。完成した卒業論文は教員や学生、またご父母の前でポスター発表を行います。論文作成の中で培われた知識やスキル、経験は将来必ず社会で役立つことでしょう。

企画力や実践力、ディスカッション力など、
さまざまな力を身につける。

自由に履修できる3つのコース

本学部では学生の視野を広げるために、3つのコースを設置。それぞれのコースで、複雑なこころの仕組みを探るための多様な専門科目をそろえています。卒業までに全てのコースから3科目以上履修することが求められます。また、1つのコースから6科目以上履修するとコース認定が受けられます。

コース名	内 容	卒業研究のテーマ（例）
神経・行動心理学コース	近年めざましい発展をみせている最新の脳科学や行動科学を学びます。心と行動の神経・生理的な基盤と行動そのもののメカニズムを中心に学習し、心と行動について生物学的・行動科学的に理解する能力に特に秀でた人材となることを目指します。	■ 空間認知における脳のはたらき ■ ポリグラフ検査における情報既知性についての検討 ■ 活動性拒食症のラットにおける食事の予期の効果
臨床・社会心理学コース	心の問題の解決を目指す臨床心理学と社会における心と行動の理解を目指す社会心理学を学びます。心の問題を解決する能力と心理学の知識を対人関係の中で活かす能力に特に優れた人材となることを目指します。	■ ストレス条件下における身体反応と感情 ■ うつ症状の臨床行動分析 ■ 返報性の観点からみた試供品配布の効果
発達・教育心理学コース	生涯発達の観点から心の発達と教育に関するメカニズムおよびその支援の基礎知識を中心に学びます。発達や教育に関連する問題について適切な理解と支援を行う能力に特に秀でた人材となることを目指します。	■ 自由遊び場面における乳児の人見知り行動 ■ 目標が課題達成に及ぼす影響 ■ 児童・生徒における異年齢交流の教育的効果



心と身体、相互の関係の理解を深める演習です。一般的に“嘘発見器”として知られているものに類似した装置を使用し、質問をされた参加者の「心臓の鼓動が速くなる」「汗をかく」「顔が赤くなる」といった反応から、心の動きを推測します。参加者に電極を取り付けて心電図を測るなど、実際の犯罪捜査などで活用されている方法を学生自ら体験できるのが魅力です。もちろん、単にデータとして数値を測定するだけではありません。得られた結果の読み取り方などについても議論を行い、心身の関係について理解を深めます。また、さまざまな装置を使用した経験は、学生が論文を執筆する際に、実験の選択肢を増やすことにもつながります。

神経・行動

生体の反応から、
心の動きを読み取る。



写真では『ウェクスラー式知能検査』に取り組んでいます。この検査は幅広い年齢を対象とすることができます。その中でも成人向けの『WAIS-III』を実施しました。「絵画完成」「積み木模様組み合わせ」といった動作性検査と、「単語」や「算数」といった言語性検査から構成され、言語性IQ（理解力や記憶力など）と動作性IQ（図形や記号の処理能力など）、そしてそれらを総合した全検査IQに分けて知能水準を算出することが可能です。また、演習では実験者だけでなく参加者の立場も経験するので、検査のスキルに加えて参加者への接し方なども修得できます。学内の演習で経験を積み、学外での検査にも挑戦します。

臨床・社会

検査スキルに加えて、
適切な接し方も学ぶ。



さまざまな心の側面を測る心理検査（知能検査、パーソナリティ検査、投影法）について学びます。写真で行われているのは、子どもを対象とした『田中ビネー知能検査』です。ロールプレイを行って参加者となる子どもの知能指数を算出し、得られた結果を解釈・分析する練習も行います。子どもを対象に検査を行う場合、特に重要なのが参加者とラポール（相互の信頼関係）を築きながら楽しんでもらうこと、そして手際よく正確に進めることです。この演習では、その両方を修得することができます。他にも多様な検査を行うので、心理検査に興味がある人や、臨床心理士を目指している人に適した実習です。

発達・教育

信頼関係を築きながら、
楽しませる術を磨く。

心理学の視点で 『犯罪』に迫る。

ニュースを見ていると、毎日のように犯罪事件のことが報道されています。

罪を犯すのがヒトであれば、罪を被るのもヒト。

その罪を立証したり裁いたり更生させるのもヒトです。

「犯罪」に関することには、心理学が大いに関係しています。

「社会心理学」
からのアプローチ

th eme.
Criminology

「精神生理学」
からのアプローチ

「犯罪 心理学」
からの アプローチ

「厳罰に処せば人は再 犯をしなくなるのか」



厳しい罰を与えれば懲りて犯罪をしなくなる。これは本当でしょうか？答えはNoです。複数の研究で、犯罪者への罰を厳しくしても再犯率は下がらないか、むしろ社会全体の犯罪率が上がる事例もあることが明らかになっています。例えば非行少年を刑務所に連れて行きさまざまな嫌な思いをさせ改心させる「スケアードストレイト（脅してまっとうにする）」というプログラムは、少年が泣きじゃくり反省の言葉を述べるので一見効果があるように見えるものの、長期的には再犯率を上げることが知られている有名な介入の一例です。処罰感情や思い込みに流されず研究に基づく効果的な介入を行うことが、実際に再犯を減らし、次の被害者を生まない社会を作ることに関与します。

KEY WORDS

科学的根拠のある実践

医学や心理学を含む広い領域で、科学的根拠のある実践（エビデンスベースド・プラクティス）が重視されています。アメリカ心理学会のホームページでは、心理学における科学的根拠に基づく実践を「患者の特徴、文化、および志向性という枠組みの中で得られる最新最善の研究エビデンスと臨床上の判断を統合させたもの」と定義しています。

「生理反応から犯罪事実の『記憶』を探る」



いわゆる「嘘発見」といわれるものは、日本の警察ではポリグラフ検査と呼ばれています。ポリグラフ検査は、犯人が嘘をついたときの生理反応を調べていると思われがちですが、実はそうではありません。例えば、盗まれた財布に3万円入っていたとします。金額は犯人しか知りません。この状況で、財布に入っていた金額について「1万円」「3万円」「5万円」と尋ねていきます。無実の人であれば金額を知らないのどの金額に対しても同じ生理反応が出ますが、犯人は金額を知っているの「3万円」に対して大きな生理反応の変化が出ます。これは質問に対して黙っていても反応が出ることから、嘘ではなく犯罪事実の『記憶』を反映していると考えられています。

KEY WORDS

ポリグラフ検査

ポリグラフとは複数の生理反応を同時に計測する装置のこと。ポリグラフ検査では、心拍数、呼吸、発汗などを同時に計測します。犯罪事実に関連した項目に対しては、心拍数が減少し、呼吸が遅くなり、発汗が増加します。

隠匿情報検査

(Concealed Information Test: CIT)

犯罪事実に関連する項目（裁決項目）と、それと同カテゴリーだが犯罪事実に関連しない項目（非裁決項目）を提示する質問方法のこと。本文の例だと、3万円が裁決項目で、1万円と5万円が非裁決項目です。実験では、事実を知っている人を「知っている」と正しく判定できる確率は86%といわれています。

KEY WORDS

リスク認知

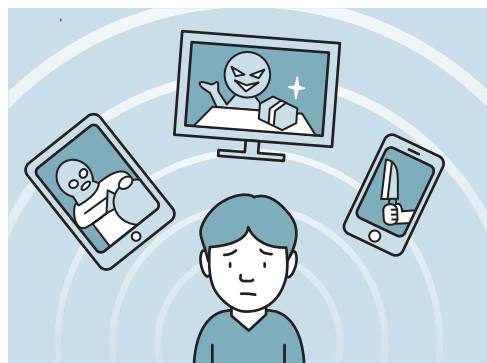
犯罪被害や災害などさまざまなものごとに対する主観的なリスク評価のこと。客観的なリスク評価は被害の重大性と生起確率からなりますが、一般市民のリスク認知がその通りになるとは限りません。このため、市民と専門家の評価は乖離することがあります。

犯罪不安

犯罪被害に遭うことに対する不安のこと。犯罪に対するリスク認知が高いほど不安も高いことが知られています。報道や人づてに犯罪被害を聞いたり、落書きやポイ捨てなどで近隣の秩序が乱れていると感じると高くなる場合があります。

ヒューリスティックス

簡便で素早い思考方略のこと。代表的な例が、容易に思い出せる事例を典型的だと考える方略である利用可能性ヒューリスティックです。報道でよく聞いていて思い出しやすい事件を、実際は珍しくても沢山起きていると考えてしまうのはこのためです。



最近、いわゆる「闇バイト」や「アポ電強盗」が話題となったため、犯罪が増え日本の治安が悪化していると思う人もいるかもしれません。しかし、犯罪認知件数は2021年までは戦後最小を更新し続けており、ピークだった2002年の4分の1程度です。では、なぜ私たちは犯罪が多いと思い、不安を覚えるのでしょうか。原因の1つとして考えられるのが犯罪報道です。「アポ電強盗」や殺人事件のような極端に凶悪な犯罪は実はあまり多くありませんが、珍しいためにかえって注目されて盛んに報じられます。それを繰り返し目にした私たちは凶悪犯罪が多いように感じてしまうことがあり、不安を覚えるようになるのです。

現代社会のあらゆる課題に対応するために 心理職初の国家資格『公認心理師』を知る。



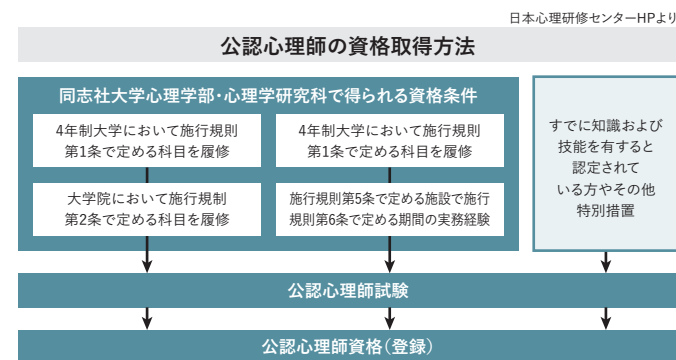
公認心理師とは

公認心理師とは、保健医療、福祉、教育などの分野において、心理学に関する専門的知識や技術をもって、支援を必要とする人の心理状態を観察・分析し、相談・指導したり、その関係者に助言したりする専門職です。

2017年に施行された公認心理師法に基づき、同志社大学心理学部および大学院心理学研究科では、受験資格を得られる教育体制を構築しています。

公認心理師になるには

文部科学省、厚生労働省(以下、両省)が定める条件を満たして大学を卒業することが受験資格を得る第一条件となります。両省が定める条件を満たして大学院を修了することで受験資格を得ることもできます。



●学部
同志社大学心理学部では2018年度より資格取得に対応したカリキュラムを施行済みです。

●大学院
臨床心理学コースでは2018年度より資格取得に対応したカリキュラムを施行済みです。

期待される活躍の場

公認心理師は、さまざまな場で関係する多くの職種の人たちと連携して、それぞれの役割を理解し、チームの一員として専門性を発揮しつつ、個々の状況に応じた支援を行います。

例) ・病院などの保健医療 ・学校などの教育 ・児童相談所や福祉事務所などの福祉
・矯正施設などの司法 ・会社などの産業

他の関連資格

一定の業務と義務行為を法律で定められている国家資格である公認心理師のほかに、心理学を専門とする民間資格もあります。同志社大学心理学部では、学生の多様な要望に対応できる環境を整えています。

●学部
認定心理士／認定心理士(心理調査)
同志社大学心理学部を卒業時に「日本心理学会」が定める条件を満たした場合、任意で認定申請ができます。(職能資格ではありません)

●大学院
臨床心理士
臨床心理学コースは「日本臨床心理士資格認定協会」の第1種指定校の認定を受けています。そのため、臨床心理学コースを修了時に条件を満たしている場合は、受験資格が得られます。

多種多様なゼミでの研究で こころに対する見聞を広めていく。

中谷内 一也ゼミ

判断・意思決定の“クセ”とリスク対応

人は日々さまざまな課題に直面し、判断を下して生活しています。これまでの心理学研究によって人の判断には系統的な“クセ”があることが分かっています。中谷内ゼミではこの“クセ”について理解を深め、人がさまざまなリスク(例えば、災害や事故、人間関係の破綻から、ちょっとした仕事上のミスや買い物の失敗まで)の判断をどのように誤ってしまうか、なぜ不利な誘導に乗ってしまうのか、といったテーマに取り組んでいます。



Key Words > 判断の歪み / 信頼 / リスク認知

畑 敏道ゼミ

脳が行動を生み出すプロセスについて探求する

行動が脳のどのようなはたらきによって生み出されるのかを研究しています。主に動物を対象として、目に見えない心の動きを行動という目に見える対象としてとらえ、それらの行動が脳のどのようなしくみやはたらきによって生まれてくるのかを調べています。実験心理学的手法を用いてヒトを対象とした自由なテーマで研究する学生も在籍しています。生物学的な視点を持って、厳密な実験手続きによって行動そのものを測定し、その源を探ろうとする科学的態度を重視します。



Key Words > 脳 / 行動 / 心

毛利 真弓ゼミ

非行・犯罪行動をした人の回復支援を通して、 自分を知り、自分のいる社会を考える。

臨床心理士／公認心理師として犯罪加害者の査定や処遇を実践・研究している毛利先生。加害に至るプロセスや回復を理解することは、他者を通して自分と自分のいる社会を知ることでもあるといいます。ゼミでは被害と加害の連鎖、加害の理解などをテーマに異なる意見の人と議論することを大事にしています。卒業研究は、犯罪行動に範囲を限定せず、関心が似通った人たちでチームを作り、ゼミ生同士で話し合い、互いをサポートしながら進めていきます。



Key Words > 非行 / 犯罪 / 回復コミュニティ

この他にも魅力的なゼミを

心理学部ホームページでご紹介しています。



杉若 弘子ゼミ

セルフ・コントロール / 利他性 / 個人差



内山 伊知郎ゼミ

乳幼児 / 感情発達 / 社会性発達



田中 あゆみゼミ

ヒューマン・モチベーション / 自律性・自己決定 / 達成目標・マインドセット

Graduate School

さらなる専門性を究める

同志社大学大学院 心理学研究科。

本学では、1961年に文学研究科心理学専攻修士課程、
1964年に同博士課程が設置され、2009年度から心理学研究科となりました。
さらに、2011年度からは前期課程に臨床心理学コースも設置しました。
長さにわたり、サイエンスとしての心理学を基礎とした高度な知識・技術の
総合的学習と研究能力の涵養を目指し、基礎研究領域と臨床実践領域の
いずれかに偏ることのない総合的な教育研究を展開しています。

国際性豊かで実践的な教育プログラムを通じ、
現代社会のニーズに応じられる専門家を育成

現在、こころの問題は社会において広がりを見せ、病院だけでなく、
企業、教育、司法の現場などで重視されています。本研究科では、実験
心理学的アプローチをベースに、産学官の領域を超えた研究や実践
活動を積極的に企画・実施できる人物を育成するために、斬新な教育
プログラムを展開しています。また、同志社大学のスケールを活かして
海外の研究者と活発な交流が行われています。心理学の専門家として
科学の発展に貢献するために、自律的に研究を展開させる意欲と
能力を備えた学生を求めています。

心理学研究科

前期課程

心理学研究科心理学専攻博士課程(前期)は、心理学について実証的立場からの高度な知識の蓄積を目的とするが、さらに基礎的実験技術の習得、また応用面での臨床的技術の習得を行い、本専攻で培った知識・研究方法を背景に、教育・司法・行政等の職種を中心とした健全なこころの成長に貢献できる人物を育成し、基礎的な問題から応用的諸問題にまで対応できる問題解決能力を持った研究者及び教育者の養成を目的とする。

心理学コース

本コースでは、心理学について科学的立場からの高度な知識の蓄積を目的とするが、さらに、基礎的実験技術の習得、プロジェクト企画・遂行能力の育成を行い、本専攻で培った知識・研究方法を背景に、教育・司法・行政及び各種企業での基礎的な問題から応用的な諸問題まで対応できる問題発見能力、問題解決能力を持った人材を養成することを目的とする。

求める力：心理学に関する幅広い基礎知識／研究運用能力(研究構想力、実践力、分析・考察力)

臨床心理学コース	財団法人 日本臨床心理士資格認定協会	第1種指定校
	公認心理師(国家資格)	2018年度より受験資格に対応したカリキュラム施行 文部科学省・厚生労働省 確認済

本コースでは臨床心理学の知識の充実と、臨床における実践的な技能の習得を目指している。臨床心理学における方法論は多様であるが、本コースでは特に科学的視点に立ち実証的なアプローチを行うことを重視している。このような教育の姿勢を背景に、心理臨床センターにおける実践、学外研修における実践などを通して、研究能力を持ち実社会に貢献できる人材を育成する。

求める力：心理学に関する幅広い基礎知識／研究運用能力(サイエンティスト)／臨床実践力(プラクティショナー)

後期課程

心理学研究科心理学専攻博士課程(後期)は、前期課程において習得した心理学研究の知識・技術を基盤として、心理学における高度な専門的知識と研究能力を身につけた研究者を養成し、大学における専門分野の研究にとどまらず、産官学分野にまたがって基礎的な問題から応用的諸問題にまで対応できる問題発見能力とそれに対する解決能力を持った研究者及び教育者を養成することを目的とする。

各コースの担当教員

詳しくはP.17-18

心理学コース

青山 謙二郎(教授)	中谷内 一也(教授)	内山 伊知郎(教授)	石川 信一(教授)	杉若 弘子(教授)
畑 敏道(教授)	竹原 卓真(教授)	余語 真夫(教授)	武藤 崇(教授)	興津 真理子(教授)
神山 貴弥(教授)	田中 あゆみ(教授)	及川 昌典(教授)	毛利 真弓(教授)	大屋 藍子(准教授)
藤村 友美(准教授)				

臨床心理学コース

学内・学外実習

学内実習

臨床心理学コースでは、「同志社大学心理臨床センター」を活用し、学内実習を行っています。学内実習では、指導相談員(臨床心理学コースの大学教員)、専任の相談員といった臨床心理士の有資格者とともに実践を学びながら、伝統の少人数教育を継承したきめ細やかな教育が受けられます。

実習例 ケース陪席・担当／プログラム実習／アセスメント実習

学外実習

学外実習には、保健医療分野、教育分野、福祉分野、産業・労働分野や司法・犯罪分野の実習施設があります。なお、事前の予告なく記載している実習先施設を変更する場合があります。実習希望者は複数の施設について学外実習を行うことができます。

保健医療分野	教育分野	福祉分野
・医療法人栄仁会 京都駅前メンタルクリニック バックアップセンター・きょうと ・医療法人栄仁会 宇治おうばく病院 サポートセンターみらい ・医療法人栄仁会 宇治おうばく病院 臨床心理室 ・京都府立医科大学附属病院 等	・同志社中学校 ・同志社国際中学校 ・京田辺市教育委員会 適応指導教室(ポットラック) 等 産業・労働分野 ・株式会社 ジャパンEAP システムズ 関西支社	・児童養護施設 京都大和の家 ・その他情緒障害児短期治療施設や 児童自立支援施設 ・株式会社 LITALICOワークス 京都駅前、四条大宮 等 司法・犯罪分野 ・法務少年支援センター京都 (京都少年鑑別所)

Pick up Research

1 コミュニケーションで人と人をつなぐ
表情の真相に迫る
心理学部心理学科 藤村准教授

文字だけのやりとりだと相手の気持ちが掴めないときがありますよね。私たちは表情や音声から相手の気持ちを読み取ってスムーズにコミュニケーションをとっています。とくに表情は信頼など社会的関係を結ぶ上で重要な役割を果たしていることがわかっています。表情筋電図など生理指標を用いてコミュニケーションの心理進化的基盤を解明する研究を行っています。



2 ことばとの「うまい」つきあい方が
メンタルヘルスの鍵になる
心理学部心理学科 武藤教授

メンタルヘルスは「ことばとのつきあい方・使い方」で良くも悪くもなることが、近年の臨床心理学の研究で明確にされつつあります。しかし、わたしたちは、学校教育(国語など)のなかで、その「つきあい方・使い方」を直接教わる機会がありません。それに関する研究を進展させ、最新知見を普及・実装させて、さらに生活の質(QOL)の向上を目指していきます。



Career Support

「ALL DOSHISHA教育推進プログラム」採択事業（2019～2024年度）

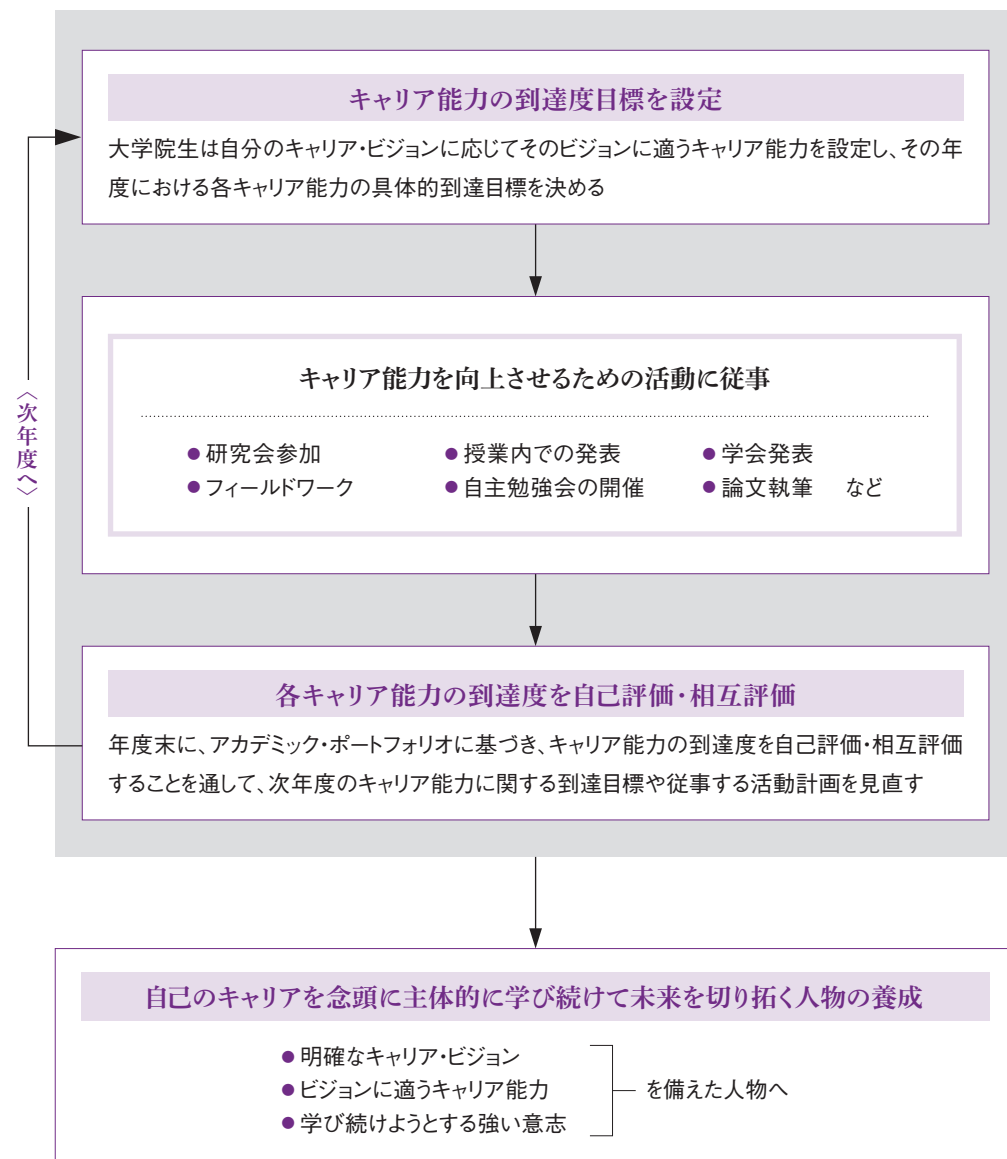
アカデミック・ポートフォリオを活用した セルフ・プロデュース型 キャリア能力開発システムの構築

大学からの補助を受けて行ってきた上記の事業は
2024年度をもって終了しましたが、
ここで策定したシステムを活かして、
心理学研究科として右図に示したような
大学院生キャリアサポート事業を独自に展開しています。

この事業の詳細はこちらから
ご確認いただけます。
https://next.doshisha.ac.jp/next/all_doshisha/saitaku/2019/saitaku08.html



セルフ・プロデュース型 キャリア能力開発システム

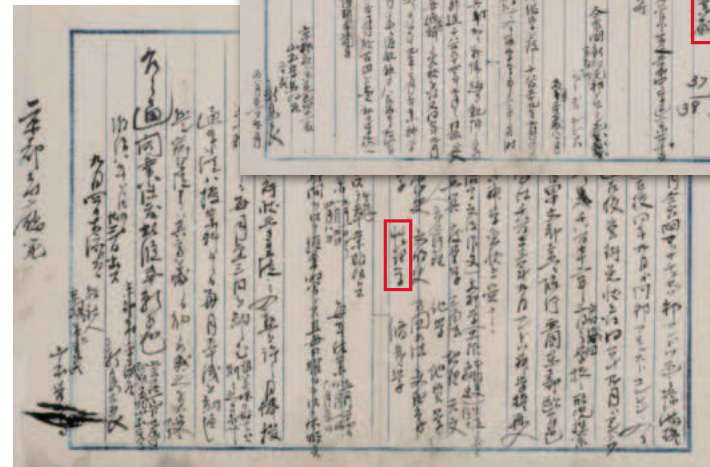


History

90年超の伝統を 受け継ぎ進化する、 同志社心理の歩み。

2009年4月、同志社大学12番目の
学部として開設された心理学部。
本学と心理学との関わりは古く、
1927年より本格的な実験心理学の
研究・教育を進めてきました。
今後も長年の伝統と精神はそのまに、
次代を見据え、新しい分野や
国際化にも対応していきます。

2027年
同志社心理は
100周年を迎えます



2019	心理学部・心理学研究科 開設10周年記念事業を举行
2018	「公認心理師」に対応したカリキュラム施行
2014	「こころの科学研究センター」を設置 ※2022年度をもって閉鎖
2013	「実証に基づく心理トリートメント研究センター」を設置 ※2015年度に「実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター」に名称変更
2012	心理学研究科 心理学専攻臨床心理学コースが、 財団法人 日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院に認定
2011	心理学研究科では、「心理学コース」「臨床心理学コース」の2コース制がスタート
2010	今出川校地・継志館に「心理臨床センター」を開設 ※2019年度に新町キャンパス・専真館へ移転
2009	心理学部・心理学研究科を開設 これまでの教育目的の根幹である「こころと行動の基本的性質と法則性を実験や調査などを通して実証していく」とことと、「こころと行動に関する臨床・応用研究と実践活動に取り組む」という2つの目的を不可欠な両輪として捉え、2009年に世界水準の新たな学部・研究科の開設を実現しました。次代を見据え、世界的潮流に応えた、良心を手腕に運用する人材の輩出を目指しています。
2008	「赤ちゃん学研究センター」を設置。 ※現在は研究開発推進機構の組織として活動中
2007	文部科学省大学院教育改革支援プログラムに採択される。
2005	文学部の改組により心理学科を設置。また「こころの生涯発達研究センター」「感情・ストレス・健康研究センター」を設置。
1986	京田辺校地開校に伴い、京田辺心理学実験室を設置。
1967	文学部文化学科において教育学専攻と心理学専攻に分離。
1964	大学院文学研究科に心理学専攻博士課程を設置。
1961	大学院文学研究科に心理学専攻修士課程を設置。
1948	新制大学の発足とともに、文学部文化学科教育学および心理学専攻として再出発。遠藤汪吉、松山義則の各教授が中心となり、新時代の心理学研究・教育の基盤整備を進める。
1927	実験心理学の歴史と伝統は、ここから始まった 1927年に文学部哲学科心理学専攻を設置。以来、実験心理学研究を究めていく本学の心理学実験室の伝統が刻まれてきたのです。初代教授の1人、本宮弥兵衛は東京慈恵会医院医学専門学校で医学を学び、同志社神学校で神学を学んだ後、オベルリン大学、イエール大学で実験心理学を修め、本学における心理学実験室の礎を築きました。
1875	新島襄によって開講された同志社英学校の科目「性理学(心理学)」 本学における心理学の研究・教育の起源は、同志社大学の前身である官許同志社英学校まで遡ります。新島襄が1875年に京都府庁に提出した「私塾開業願書」に開講科目の1つとして「性理学(心理学)」が記されています。日本の現代心理学の礎を築いたとされる東京帝国大学の初代教授となった元良勇次郎と、京都帝国大学の初代教授となった松本亦太郎は、ともに同志社英学校草創期の学生でした。

Professors

あなたの知的好奇心に応える、
心理学エキスパート。

それぞれの[専門領域][現在の研究テーマ]を紹介。
心理学のエキスパートとともに、心理学の世界へ踏み出しましょう!

各教員の詳細はこちらから
ご確認いただけます。

<https://psych.doshisha.ac.jp/professors/>



内山 伊知郎 教授

[専門領域]
| 発達心理学
| 交通心理学
[現在の研究テーマ]
| 乳幼児から高齢期までの
発達心理学
| 交通安全の発達心理学



鈴木田 英里 助教

[専門領域]
| 発達臨床心理学
| 家族の支援
[現在の研究テーマ]
| 発達障害児及び
知的発達症児をもつ
家族の家族レジリエンスを
促進する支援
| 家族レジリエンスが促進、
あるいは阻害されるプロセス



竹原 卓真 教授

[専門領域]
| 認知心理学
| 複雑系心理学
[現在の研究テーマ]
| 複雑系や複雑ネットワークを
通じた認知心理学的研究



石川 信一 教授

[専門領域]
| 臨床児童心理学
[現在の研究テーマ]
| 子どもを対象とした
認知行動療法
| 学校ベースのメンタルヘルス
予防プログラム
| 児童青年期における
異常心理学的研究



青山 謙二郎 教授

[専門領域]
| 学習心理学
| 行動分析学
| 食行動の心理学
[現在の研究テーマ]
| 食べる行動の実験心理学的研究
| 衝動的行動の行動分析学的研究
| 動機づけ行動のセッション内減少



中谷内 一也 教授

[専門領域]
| 社会心理学
| リスク心理学
[現在の研究テーマ]
| 災害や各種リスクに対する
認識と行動



藤村 友美 准教授

[専門領域]
| 精神生理学
| 感情心理学
[現在の研究テーマ]
| コミュニケーションの心理的・
生理的基盤の解明



及川 昌典 教授

[専門領域]
| 社会心理学
[現在の研究テーマ]
| 意識と無意識
| 自己と他者
| 自由意志



神山 貴弥 教授

[専門領域]
| 学校心理学
| 教育社会心理学
[現在の研究テーマ]
| 開発的・予防的生徒指導と
子どもの心理・社会的発達
| 感情欲求が態度に及ぼす影響



神原 広平 助教

[専門領域]
| 臨床心理学
| 認知行動療法
| 抑うつに対する予防的アプローチ
[現在の研究テーマ]
| ネガティブな考え込み(反すう)と
抑うつの関係の検討
| 反すうに対するWebベースのプログラムの開発
| 高等学校等におけるユニバーサルな
抑うつ予防プログラムの開発 など



興津 真理子 教授

[専門領域]
| 家族心理学
| 臨床心理学
[現在の研究テーマ]
| 家族造形法による事例
検討がもたらす効果について
| グリーフケアにおける
家族へのアプローチ



毛利 真弓 教授

[専門領域]
| 犯罪心理学
| 臨床心理学
[現在の研究テーマ]
| 性暴力に対する治療教育
| 共同体と関係性を基盤とする
犯罪行動変化への介入
(特に刑務所内治療共同体)
| 犯罪行動を手放す(離脱)
プロセス



余語 真夫 教授

[専門領域]
| 臨床社会心理学
| アフェクティブ・サイエンス
(感情科学)
[現在の研究テーマ]
| 感情の生成と変容における
言葉の役割の実験心理学的研究



田中 あゆみ 教授

[専門領域]
| ヒューマン・モチベーション
[現在の研究テーマ]
| 達成目標の効果に関する研究
| 自律性・自己決定とその支援に関する研究



畑 敏道 教授

[専門領域]
| 生理心理学
| 行動学的神経科学
[現在の研究テーマ]
| 時間評価や記憶の
脳内過程に関する研究



武藤 崇 教授

[専門領域]
| 臨床言語心理学
| 生老病死を考える心理学
[現在の研究テーマ]
| 言語行動理論(関係フレーム理論を含む)
による心理療法場面におけるプロセス研究
| アクセプタンス&コミットメント・セラピー(ACT)
に関するプロセス、アウトカム研究
| 家族の認知症介護負担感の支援
方法に関する研究
| 人が抱える根源的な苦悩(生老
病死)に関する研究



杉若 弘子 教授

[専門領域]
| 臨床心理学
| パーソナリティ心理学
[現在の研究テーマ]
| 個人と状況に応じたセルフ・コントロール
| ソーシャル・サポートの授受と
メンタルヘルス
| 心理療法に対する期待と好み



大屋 藍子 准教授

[専門領域]
| 臨床行動分析
[現在の研究テーマ]
| 糖尿病・肥満症患者への
心理・社会的支援に関する研究
| 行動変動性の増大に関する研究



Facilities

先進の
実験実習施設を備えた
充実の環境。

京田辺キャンパス・知証館南館に
実験施設が整備され、
さらに香柏館にも研究室や
プロジェクト演習室が設置されました。
同志社心理ならではの
実験的手法を重視した教育と研究を、
発展させていく環境と設備が整っています。



生体信号計測装置・電磁シールドルーム
脳の働きなど微細な生体現象を測定する部屋です。



3次元顔画像撮影解析装置 (VECTRA)
人間の顔を3次元で撮影することができ、あらゆる方向から解析することができます。



一方向気流式飼育システム
最大160匹のラットが飼育可能な自動給水・洗浄ラックを導入しています。



フリーラウンジ
学生が自由に学習できる部屋です。



大学院共同研究室
大学院生用に机やパソコンを整備した部屋です。



プロジェクト演習室
レポート作成などを主体的に行うための拠点として利用します。



機能的近赤外線分光法 (fNIRS)
生体透過性の高い近赤外光を頭部に照射し、生体内から反射される光の一部を検出することで、脳表面の活動状態を可視化する装置です。



クライオスタット
脳切片の標本を作製するための装置です。



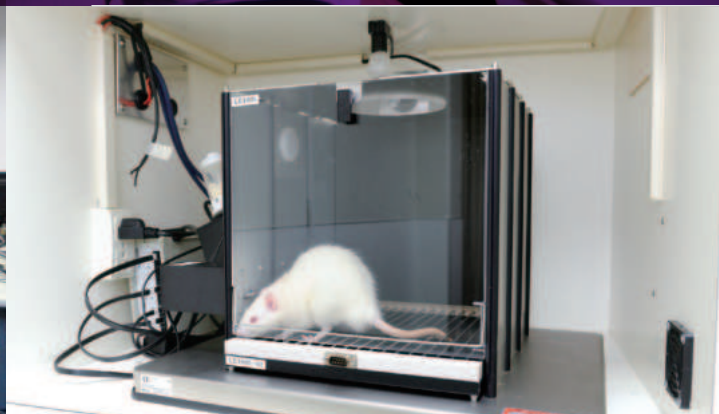
モニター室
他の部屋の様子を映像でモニタリングします。



手術室
脳の外科的処置や薬理学的処置を行います。



PCコーナー
全学生が本学のパソコンおよびネットワークを利用可能です。



スキナー箱
ラットにレバー押しの学習をさせる装置です。



行動観察室
主に実習授業で面接の練習や行動観察に使います。



グループセラピー室
グループを対象とした心理療法を行う部屋です。



視線計測装置
認知行動の解析を行うための装置です。

Talk Session

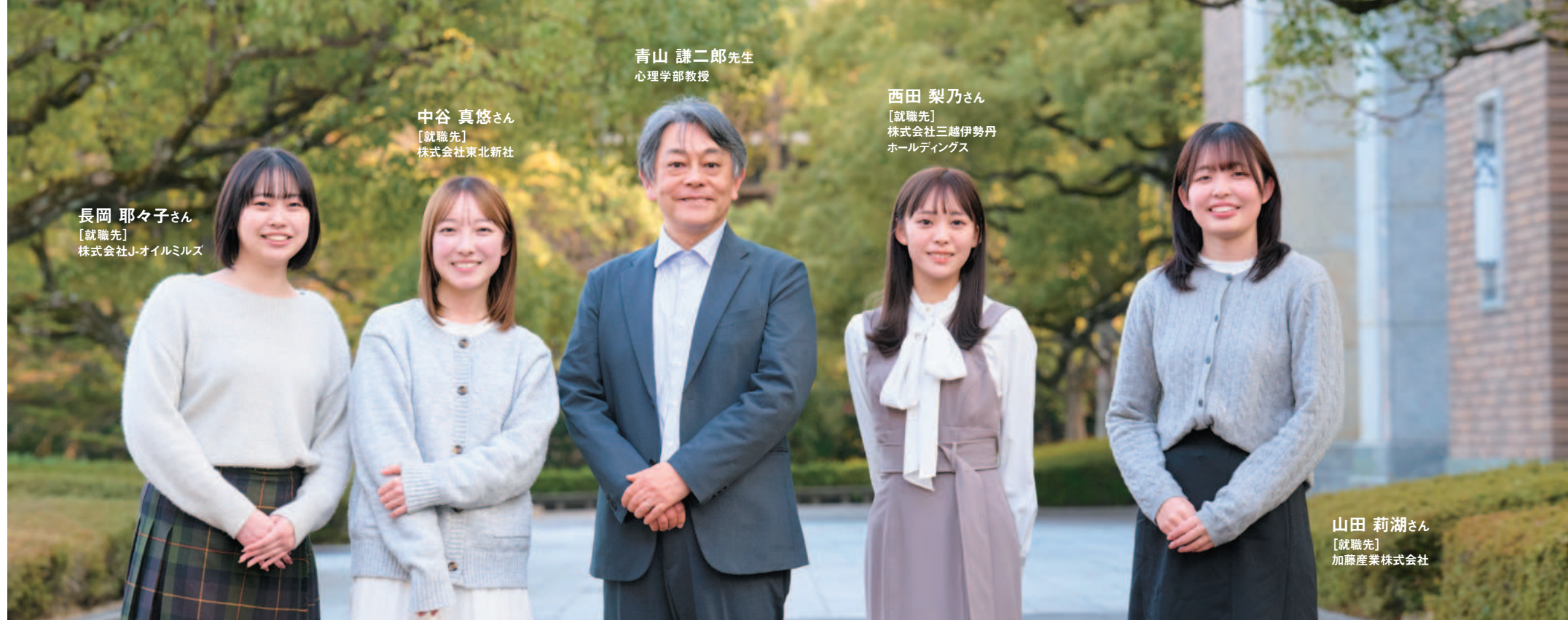
人の心と行動を学び、 未来につながる力を育む。

心理学への入り口は、人それぞれ。心理学部で扱うテーマは幅広く、大学で何を学ぶか、それを社会でどう生かしていくか、その先の選択肢もまた無数に広がっています。食行動に関する心理学を専門とされる青山先生と、4名のゼミ生に、同志社心理で身についた力や未来につながった学びについて語っていただきました。



初めに、心理学部を志望した理由と、
入学後に感じたことを教えてください。

長岡さん：高校時代に受けた動物心理学に関する特別講義がきっかけです。学部選びで迷っていたときにその講義が面白かったことを思い出し、学ぶなら自分の興味のある学問にしよう心理学部を志望。入学してみたら想像していた以上に学問の幅が広く、それがいい意味



長岡 耶々子さん
【就職先】
株式会社J-オイルミルズ

中谷 真悠さん
【就職先】
株式会社東北新社

青山 謙二郎先生
心理学部教授

西田 梨乃さん
【就職先】
株式会社三越伊勢丹
ホールディングス

山田 莉湖さん
【就職先】
加藤産業株式会社

で感じたギャップでした。

西田さん：食や教育など身近なテーマの中でも多様なアプローチの仕方があり、ゼミの数や扱うテーマの多種多様さにも驚きましたね。私は人と関わることが好きで、一番関心を持っていたのが人間関係や感情に関することだったので、心理学部を選びました。

山田さん：私も昔から人の言動の理由について考えることが多く、大学では心理学を学ぼうと決めていました。

中谷さん：私は子どもたちの行動を観察するドキュメンタリー番組を見て心理学に惹かれたからです。番組を通して4歳の子どものそれぞれ個性があることを知り、どのように性格が形成されるのか、発達心理学的な視点に興味を持ちました。

青山先生：以前は臨床心理士や公認心理師、カウンセラーなど専門職を目指している人が多かった印象ですが、最近は純粋に人の心や行動について知りたいという人も増えていますね。また、4年間学んでいくうちに興味が変わる人も少なからずいます。幅広い興味関心に対応できるのが同志社心理の強みでもあります。

西田さん：統計学など数字を扱う機会が多かったのも印象的でした。もともと数学が苦手で不安でしたが、先生方が丁寧に教えてくださったので、根気強く取り組み、充分な力をつけることができました。青山先生：少人数の学部なので教員と学生の距離が近く、友達とも助け合える環境がありますね。グループワークなどで学生同士が関わる機会もなるべく作るようにしています。

山田さん：私たちはちょうどコロナ禍の入学。特に一人暮らしだと一人で部屋にこもることが多く心細かったですが、対面授業だった心理学実験が心の救いでした。5～6人のグループで協力しながら実験を行うので、学びを深めながら仲良くなることもできました。

研究テーマについて教えてください。

山田さん：「飲み物を作る労力が印象評価に及ぼす影響」について研究しました。具体的には、カフェオレやココアを自分で作る・作らないの労力の違いが味にどう影響するのか実験を行いました。

長岡さん：私も同じ研究テーマで、自分で飲み物を作った方が、他者が作ったときよりもおいしく感じ、飲む量も増加するという結果を得られました。

青山先生：コーヒー豆をミルで挽いてみたり、牛乳の上にココアクリームを乗せるダルゴナココアを作ってみたり、「労力」に焦点を当てて色々試してみたことで面白い研究になりましたね。

西田さん：私は小売店舗での販売促進につながる手法を検討しました。実験室に模擬棚を設置して、BGMの速度の違いが対象商品の売り上げや滞在時間に与える影響などについて実験。BGMの速度が遅いと滞在時間も伸びると思っていたのですが、実際は想定と逆の結果に。

青山先生：全く逆の結果が出ることは珍しいです。一見実験が失敗したようにも見えるのですが、次の実験でも同じ結果が再現されたので、むしろ新しい知見が得られたとみなすべきです。

中谷さん：私も同じ販促に関するもので「POP広告におけるオノマトペの字体が購買意欲に与える影響」について研究しました。食品

のPOPに使われている「サクサク」「ぶにぶに」といったオノマトペがどのような字体で書かれていると消費者の購買意欲が高まるのかを検証するために、実際にPOPを作成して大学の生協でフィールド実験を行いました。グループ研究なので複数人で一つの卒業論文を作り上げるのに苦戦しましたが、それぞれの意見や姿勢の違いを何とかまとめて完成させることができました。

卒業後の進路について教えてください。

中谷さん：CMや映画など映像関係の企画・制作を行う会社に就職します。限られた時間で人々の心を動かす広告というものに興味があり、広告業界をメインに就職活動。卒業論文が広告に関するものだったので、それを紹介したところ、同じ業界として広告の表現を細かく追究している点が面白いという意見もいただけて、嬉しかったです。

山田さん：私は大学での学びを通して食と人との関わりに改めて魅力を感じていたので、食品業界に挑戦。卸売業では直接業務に関係する商品の陳列の仕方や、BGMの効果など、ゼミで学んだことを面接で話すと興味を持ってもらえたのが良かったです。

長岡さん：私も食に関わるのが好きで、食品メーカーに就職します。授業では先行研究の論文を読んでまとめて皆の前で発表するという機会がたくさん。そこで鍛えられた「自分の意見を簡潔に伝える力」が、エントリーシートでも面接でもとても役立ちました。

青山先生：最近ではゼミで食品・飲料関係のメーカーや広告業界、小売業界を目指す人が増えており、それを踏まえて卒業論文のテーマを決める人も結構いますね。ただ公務員やITベンダー、インフラ関係などに就職する人もいて、本当にさまざまな分野に就職しています。

西田さん：私はやはり人と関わり続けたくて百貨店業界を志望しました。百貨店では日常的にデータや数字を扱います。心理学部ではデータ分析の手法だけでなく、なぜそれが選ばれるのかという人々の考え方で学べているので、実際に売り場に出ても大いに活かせるはず。



山田さん：そういう手法や考え方は自然と身につきますよね。私も卒業研究で実験実施を繰り返すなかで、自分で考え続ける力を養いました。就職後も営業や企画の提案の際に発揮していきたいです。



最後に高校生へのメッセージをお願いします。

山田さん：自分で考えることが好きな人には心理学部が向いていると思います。幅広い分野があり、基礎から応用まで学びながら自分のやりたいことを模索することも、突き詰めることもできます。

中谷さん：心理学は身近なものに関する不思議を解き明かすもの。日常の中の小さなことでも疑問を抱くような人なら、その面白さを感じてもらえると思います。

西田さん：それだけでなく、どんな人でも受け入れてくれる学部だと私は思っています。苦手な科目があっても、コロナ禍で人と会えなくても、少人数だからその学生同士や先生との距離の近さに私は救われました。安心して飛び込んでみてほしいです。

長岡さん：心理学部は文理問わず受験できる珍しい学部です。心理学の知識だけでなく、将来必要な英語力も、論理的思考力も培えます。少しでも興味を持った方はぜひ来てみてください。

青山先生：心理学は「人」の心と行動を対象に科学的な研究を行う学問。この学部に入学者の方は何らかの形で「人」に興味を持って来てくれます。関心が近い人たちが集まるので自然と距離も近くなりますし、学びも身につけやすいです。「人」に関わる領域ならどんな道に進んでも役立つ力を得られるのではないかと思います。

— ありがとうございます。

Career

多彩な分野への
就職・進学が可能です。

企業や公務員・教員など幅広い業界への就職実績があります。
また、公認心理師などの資格を取得し(大学院臨床心理学コース)、
その専門技能を活かした心理専門職へ就くことができます。
さらに、高度な知識と技術を学ぶ大学院へ進学し、
研究機関や教育機関で研究職に就く道もあります。

学部で取得できる免許・資格

- 小学校教諭1種^{※1}
- 中学校教諭1種(社会)
- 高等学校教諭1種(公民)
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 博物館学芸員

※1 神戸親和大学通信教育部児童教育学科および佛教大学教育学部教育学科(通信教育課程)との提携による

関連資格

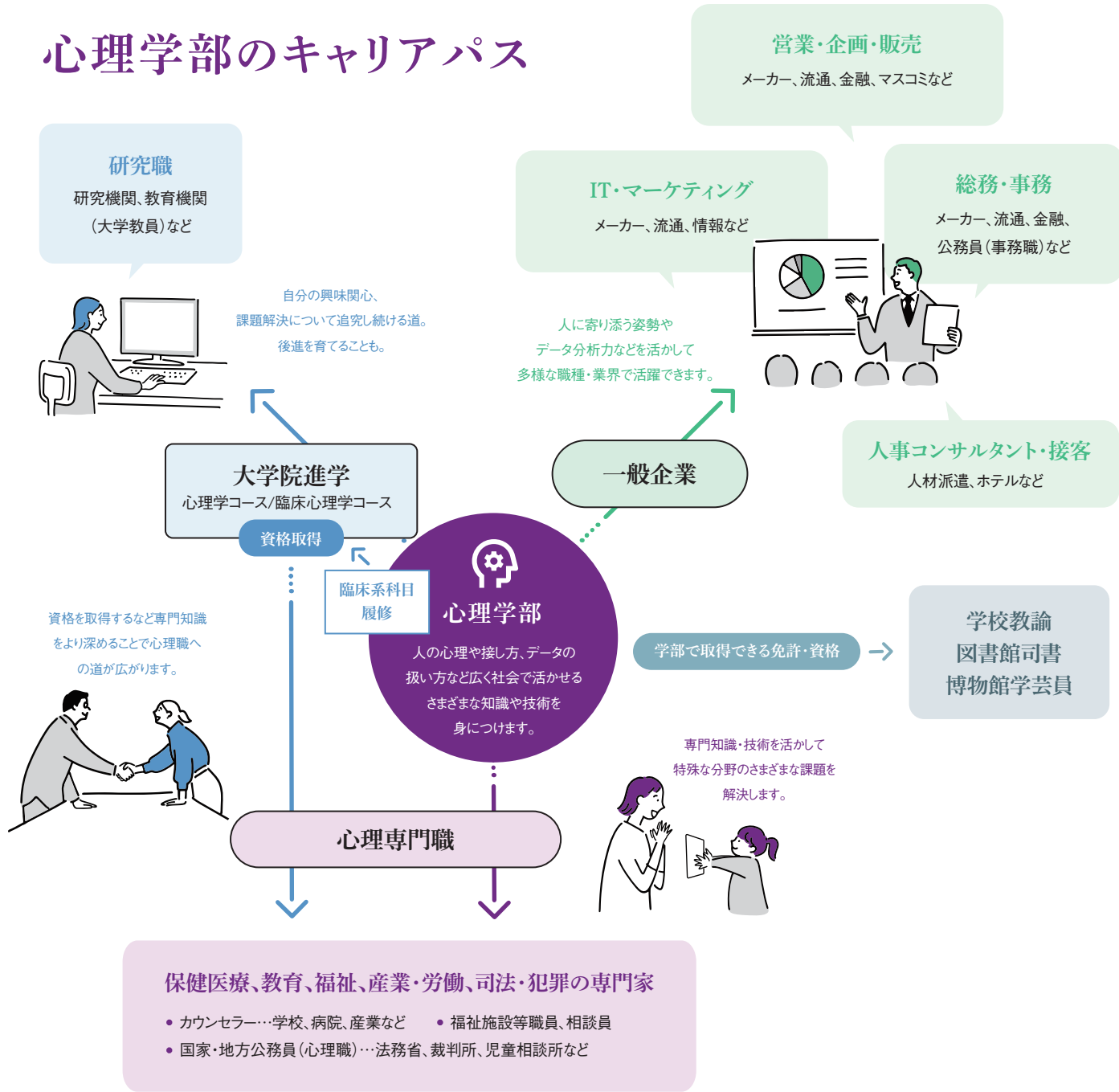
詳しくはP.11

- 公認心理師(国家資格)^{※2}
- 臨床心理士^{※3}
- 認定心理士、認定心理士(心理調査)

※2 公認心理師(国家資格)の受験資格について
学 部:資格取得に対応したカリキュラム施行済
大学院:資格取得に対応したカリキュラム施行済
最新の情報については心理学部・心理学研究科のホームページで随時お知らせします。

※3 本学の心理学研究科(前期課程)臨床心理学コース修了者に受験資格が与えられます。

心理学部のキャリアパス



主な就職・進学実績(過去3年間)

就職先

※社名は就職した時点のものです

【メーカー】

- 味の素AGF株式会社
- 株式会社一条工務店
- 株式会社SCREENホールディングス
- 株式会社バンダイ
- 株式会社村田製作所
- 京セラ株式会社
- ダイキン工業株式会社
- 大日本印刷株式会社
- 宝ホールディングス株式会社
- テルモ株式会社
- 任天堂株式会社
- パナソニック株式会社
- 浜松ホトニクス株式会社
- 三菱重工業株式会社
- 森永乳業株式会社

【流通】

- 株式会社高島屋
- 株式会社ニトリ
- 株式会社ニトリホールディングス
- 興和株式会社
- JFE商事株式会社

【金融】

- 株式会社京都銀行
- 株式会社滋賀銀行
- 東京海上日動火災保険株式会社
- 日本生命保険相互会社
- 野村證券株式会社
- みずほ証券株式会社
- みずほフィナンシャルグループ
- 三井住友海上火災保険株式会社
- リソナグループ
- 株式会社NTTドコモ
- 株式会社JR東日本情報システム
- 株式会社バйкаレント・コンサルティング
- 京セラコミュニケーションシステム株式会社
- 株式会社NTTデータ

【マスコミ・情報】

- 朝日放送グループホールディングス株式会社
- 株式会社NTTデータ

- 株式会社NTTドコモ
- 株式会社JR東日本情報システム
- 株式会社バйкаレント・コンサルティング
- 京セラコミュニケーションシステム株式会社

【教育・学習支援】

- 国立大学法人大阪大学

【サービス】

- アクセンチュア株式会社
- 株式会社ADKホールディングス
- 株式会社JTB
- 株式会社すかいらーくホールディングス
- 株式会社LITALICO
- パナソニックグループ労働組合連合会
- 星野リゾートグループ
- 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
- 有限責任監査法人トーマツ

【公共・その他】

- 大阪ガス株式会社
- 大阪府
- 関西電力株式会社
- 京都市
- 京都府
- 警視庁
- 神戸市
- 国税専門官
- 国家公務員(一般職) 経済産業省
- 国家公務員(専門職) 法務省矯正心理専門職
- 国家公務員(専門職) 法務省法務教官
- 国家公務員(総合職) 法務省
- 裁判所職員(総合職) 家庭裁判所調査官補
- 積水ハウス株式会社
- 東海旅客鉄道株式会社
- 奈良県
- 日本通運株式会社

(五十音順)

進学先

- 大阪公立大学大学院 生活科学研究科
- 大阪大学大学院 人間科学研究科
- お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科
- 九州大学大学院 人間環境学府
- 京都大学大学院 教育学研究科
- 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科
- 筑波大学大学院 人間総合科学学術院
- 東京大学大学院 教育学研究科
- 同志社大学大学院 心理学研究科
- 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科
- 名古屋大学大学院 人間文化研究科
- 奈良女子大学大学院 人間文化総合科学研究科
- 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科
- 広島大学大学院 人間社会科学研究科
- 早稲田大学大学院 文学研究科 他

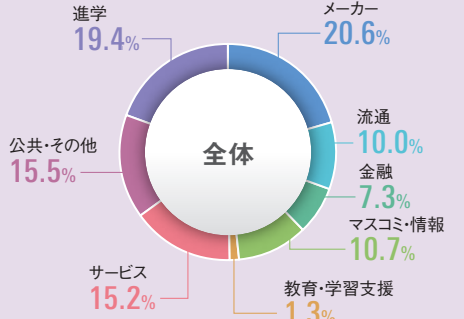
(五十音順)

研究科生進路

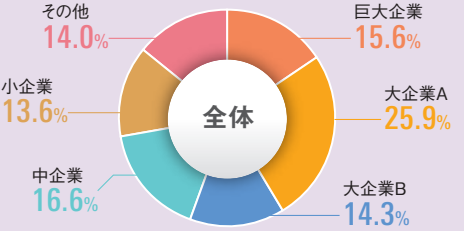
- 一般社団法人水口病院
- 医療法人財団医道会 稲荷山武田病院
- 医療法人大社会久喜すずのき病院
- 医療法人明萌会
- ウェルビー株式会社
- 株式会社T'Sコーポレーション
- 滋賀県(専門職)
- 中京大学心理学部(専任講師)
- 奈良県(専門職)
- PRAヘルスサイエンス(株)
- 法務省専門職員(矯正心理専門職)
- 北海道大学大学院文学研究院(博士研究員)

(五十音順)

分野別進路 過去3年間平均値



企業規模別就職率



※1 巨大企業＝従業員5,000人以上 大企業A＝1,000人以上
大企業B＝500人以上 中企業＝100人以上 小企業＝100人未満

※2 各種学校、非営利団体、宗教法人、医療・保健、介護事業、公務員などの業種は全てその他に含む。

学部概要・入学試験情報

学部概要

[学部名称] 心理学部
[学 位] 学士(心理学)
[学科構成] 心理学科(一学科制)
[入学定員] 158名
[設置場所] 京田辺校地：京都府京田辺市多々羅都谷1-3

入学試験情報

- 一般選抜入学試験(全学部文系、全学部理系、学部個別)
- 大学入学共通テスト利用入学試験
- 自己推薦入学試験
- 第3年次転入学・編入学試験
- 外国人留学生入学試験



同志社大学 心理学部 シンボルマークについて

同志社の象徴であるワイルドローヴァー号と、心理学(psychology)を表すギリシャ文字のψ(プサイ)を組み合わせて図案化しました。古典的なエンブレム風のデザインと創立年を示す「SINCE 1927」の文字は、同志社大学心理学部にふさわしい伝統と品位を表現しています。ワイルドローヴァー号の帆を掲げ、新天地へ渡った新島襄の志と探求心が今に生きていることを表す、堂々としたイメージのマークです。

同志社大学 心理学部

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅谷1-3

TEL:0774-65-8220 FAX:0774-65-8223

E-mail:jt-snrjm@mail.doshisha.ac.jp

さらに詳しく知りたい人は

同志社大学 心理学部ホームページ
<https://psych.doshisha.ac.jp/>

[日英サイト開設](#)



- Point 1** パンフレットには収まりきらなかったインタビュー記事を掲載!
- Point 2** イベントなど、学部に関する最新情報を続々配信中!
- Point 3** 教員の研究・ゼミや進路など気になる情報もさらに拡充中!



書籍紹介

『ようこそ、心理学部へ』

[先生コメント](#)

この本では心理学部を“紙上体験”していただきます。

読者は心理学部2年次生となり、ある1週間の専門講義科目7コマに出席します。内容は実際の講義を再現するもので、定番のテーマや興味深いトピックスが取り上げられています。専門講義科目といっても本書は初めて心理学に接する読者を想定しています。各講義は心理学の基礎知識がなくても理解できますので、その点ご安心下さい。

さあ、心理学部の大学生がどんなことを勉強しているのか、体験してみましょう。

発行責任者 中谷内 一也

書籍名:『ようこそ、心理学部へ 同志社大学心理学部編』

出版社:筑摩書房 版型:新書版 ページ数:208頁 発刊日:2022/3/8

お求めは全国の書店または、
筑摩書房のHPへ

<https://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480684219/>



心理学部ホームページでも
紹介しています

<https://psych.doshisha.ac.jp/book/>

